

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 ジョン F.ジャーム
 RI第2620地区ガバナー 生子 哲男
 会長 大石 昭裕
 幹事 安本 晋
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

会長挨拶

第1628回例会 会長挨拶

会長 大石昭裕

総務省統計局の発表によると、2017年1月1日現在における西年生まれの人口は942万人で、総人口に占める割合は7.4%となっているそうです。

総人口を十二支別にみると、丑年生まれが1108万人で一番多く、子年の1091万人、羊年の1087万人と続いており、酉年生まれは12番目で、最も少ないとのこと。

しかし、先週もお話しましたが当クラブでは、原名誉会員も含めると会員20名のうち5名、25%も酉年が占めています。更に酉年生まれの人口を出生別にみると1969年生まれ(荒川さん)が185万人と最も多く、次いで1981年生まれ(安本さん)が151万人、1957年生まれ(大石)が145万人、1945年生まれ(菊池さん)が128万人、1993年生まれ、2005年生まれと続き、1993年生まれ(原さん)96万人となっています。

本日の例会プログラムは各世代の酉年会員の卓話になっていますので宜しくお願い致します。

スマイル報告

原 修一 酉年で老人の駄辯を聴いて下さい。
 あとはスマイルです。
 太田昭二 米山記念奨学会へ。
 太田昭二 ロータリー財団へ。
 野口郁夫 ロータリー財団へ。
 安本 晋 ロータリー財団へ。
 大石昭裕 ロータリー財団へ。
 大石昭裕 米山記念奨学会へ。
 梅田欣一 米山記念奨学会へ。
 梅田欣一 ロータリー財団へ。
 小川隆洋 ロータリー財団へ。
 徳山明広 米山記念奨学会へ。
 古泉榮一 ロータリー財団へ。
 古泉榮一 米山奨学会へ。
 齋藤悦生 米山記念奨学会へ。
 濱田清明 ロータリー財団へ。
 濱田清明 今月も宜しく。
 坪内秀樹 ロータリー財団へ。
 川口尚史 今日誕生日です。
 川口尚史 ロータリー財団へ。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

*ガバナー事務所より
 ガバナー月信1月号 到着
 姉妹クラブ募集のご案内(寒河江さくらんぼRC) 到着
 *ロータリーの友事務所より
 ロータリーの友1月号 到着
 *米山記念奨学会より
 ハイライトよねやま202号 到着 →回覧中
 *ロータリー財団より
 朝日新聞の「R財団100周年シンポジウム」の掲載紙 到着
 財団ニュース1月号 到着 →回覧中

■ 例会変更 ■

*新富士ロータリークラブ
 2月7日(火)→特別休会
 2月14日(火)→移動例会
 2月28日(火)→26日(日)IM
 *富士宮西ロータリークラブ
 2月24日(金)→26日(日)IM
 *御殿場ロータリークラブ
 1月19日(木)、26日(木)→場所:東山荘

■ 週報到着 ■

沼津RC・富士宮西RC・御殿場RC

本日のゲスト・ビジター

ビジター・ゲストはありませんでした。



菊地勝男会員
ロータリークラブに入会して確か2回目の年男卓話であるような気がします。十二支は、中国より伝来され、日本流に動物にあてはめられたと聞いております。干支のそれぞれの動物には由来があるようです、酉年の由来も、諸説あるようですが、酉は酒を仕込む時期に関連があるようです。酉が大空を羽ばたく「とり」なのは、解りませんが、この際、年男として酉にかかわる日常生活の戒めなどを学びたいと思います。あらためて、とりに関する格言などを調べてみました。四文字熟語に以下のようなものがありました。

•鶏口牛後(けいこうぎゅうご)

大きな組織や集団での末端にいるより、小さな集団であっても、その先頭になって活躍する方が賢いという意味。「鶏口となるも牛後となるなかれ」の略。鶏口は鶏のくちばしで弱小なもの頭を、牛後は牛の尻で強大なもの末端をいう。「鶏口牛後の志で社会に巣立つ」、のように使う。類義語に「鶏尸牛従(けいしぎゅうしょう)」がある。

•鶏尸牛従(けいしぎゅうしょう)

ウシの大きな群れの後に従って行くより、小さくともニワトリの群れの長(先頭)になったほうが良いという意味。「寧(むし)ろ鶏尸(けいし)と為(な)るも牛従(ぎゅうしょう)と為(な)ること無(な)かれ」の略。「鶏尸」は、ニワトリの群れの長。「牛従」は、ウシの群れの後ろに従って行くこと。大きな組織や集団の一員として従って行くより、小さな集団でも、その長となって重用される方が良いということ。

•鶏群一鶴(けいぐんいつかく)

多くの鶏(にわとり)の群れの中に、美しい一羽の鶴がいる様子で、多くの凡人の中で傑出した目立つ人物をたとえている。鶏群とは鶏の群れのことで、何の取柄もない人々の集まりを言っている。使い方 / 例文:「彼は鶏群一鶴、優れた人材だ」、のように使う。類義語に「鶏群孤鶴(けいぐんこかく)」がある。

•陶犬瓦鶏(とうけんがけい)

外見だけは優れているが、役に立たないもののため。陶犬は「せともの犬」で、瓦鶏は「瓦のにわとり」であり、外見は良い。「激しい頭痛に医者も薬も、陶犬瓦鶏」、のように使う。

•鶏皮鶴髪(けいひかくはつ)

年老いて衰えた老人をたとえたことば。ニワトリの肌のように、張りや艶を失って衰えた肌が「鶏皮」。鶴の羽のように白くなった髪が「鶴髪」。

•鶏骨支床(けいこつししょう)

身体が痩せ衰えて床や寝台に支えることがやっとならざる状態の意味。転じて、「喪に服して、憔悴しきっているようす」。「鶏骨(けいこつ)、床(とこ)を支(ささ)う」と読みくです。

•嫁鶏随鶏(かけいずいけい)

妻が夫に従うことのため「妻が夫のもので安んじている」ことをいう。雌のにわとりがから。嫁鶏とは「めんどり」のことで、おんどりに従うという意味。「嫁鶏かけい鶏けいに随したがう」と読み下す。「似たもの同志の二人は、結婚後も嫁鶏随鶏、よく助け合い、幸せに暮らしている」、のように使う。類義語に「夫唱婦随(ふしょうふうずい)」がある。

•家鶏野鶩(かけいやぼく)

新しいものや珍しいものをありがたがり、日常の見なれたものを軽視すること。また、遠方にあるものや悪いものを好み、身近なものや良いものを嫌うことのため。由来 / 語源:家で飼っているニワトリよりも、野生のアヒルを好むという意味から。野鶩(やぼく)は野生のアヒルのことで、「家鶏(かけい)を厭(いと)い、野鶩(やけい)を愛(あい)す」とある。「現代人は家鶏野鶩に走る嫌いがある」、のように使う。

•牛刀割鶏(ぎゅうとうかっけい)

取るに足りない小さなことを処理する為に、大げさな方法で対処することのため。小さな物事を裁くのに、大げさな手段や大人物の起用は必要ないと戒めている。「牛刀(ぎゅうとう)もて鶏(にわとり)を割(さ)く」と読み下す。

今年こそ、「とりのように羽ばたく」を年頭書簡として老朽に鞭打ちたいと思います。



会長 大石昭裕

今年、還暦を迎えます。自分では気分は30代、40代のような気がしますが、今年こそ広島カープが日本一になり、全身を赤いカーブグッズで身を固め、自分で自分を祝いたいと思います。

50歳で会社を立ち上げ、ロータリーに入会し10年目になりました。数年前から体力も衰えてきたように思います。それまでは一人でしていた仕事も最近では応援を頼むようになりました。できるだけ顧客の為に安い価格で仕事をしてきましたが、人を使うようになり、経理処理もそろそろ税理士に頼むしかないと考えています。そうならば以前のような価格設定では限界もあり、今年には心を入れ替えて少し「がめつく」していこうかなと思います。会社もロータリーも10年と区切りの年となりそうです。



幹事 安本晋

昭和56年の年男、36歳の安本です、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

今年は、ロータリーについては、まずは残り半年間の幹事年度に力を尽くしたいと思っております。先週の新年会では会長から、今年は幹事のいうことを聞こうと思うという恐れ多い言葉を戴いてしまいましたが、会長のロータリーに対する情熱をうまく会に還元できるようにしたいと思います。残り半分ですが、会長と二人三脚で、がんばってやっていこうと思います。

また、残りについては、個人的には広報をやっていききたいと思っております。わがロータリーは秘密主義でもなんでもなく、職業奉仕を中心として奉仕活動は世界に対し良い事をしているですから、このような良い活動が世間に対してアピールできなければいけないと思っております。そういう中で広報、公共イメージの向上をいきたいと思っております。ただし、広報としての具体的な案が直ぐにあるわけではないのですが、齋藤さんや前田さんが尽力して作成していただいた facebook や、清水町の広報などを活用して、すこしでも市民の皆様にもロータリーの名前が目につくられるようになればより良いのではないかなと思っております。特に次年度はガバナー補佐を太田先生にお願いし、IMなどの大きな行事もありますので、いい機会になればよいと思っております。

さて、肝心の本業ですが、私も弁護士になって丸7年、8年目を向かえることになりましたが、様々な業務内容を経験できる今の事務所での仕事内容は得難い経験ですので、もう少し、今の状態を継続していこうと思っております。昨年の話をすれば、例年同様、交通事故、離婚、破産、民事再生、労働事件といった民事事件から、交通死亡事故、傷害といった刑事事件まで様々な事件を取り扱ってきました。

こと業務という点で言えば、去年はすこし労働事件が増えたな、という印象です。労働事件で問題になるのは、解雇の問題が最も多く、それに付随して未払い賃金の問題、残業代の問題といろいろ言われてくることで、少数ながら労災の問題ということも問題となることがありました。トラブルの原因を考え、できるだけ、予防的な観点からも法的なアドバイスができるように十

分準備していきたいと思っております。

ゴルフは去年は良かったり酷かったり立ったので、今年はコンスタントにスコアを減らせるようになり真面目にがんばりたいと思います。



名誉会員 原 修一

本日は年男でもある原会員にもご出席いただき、お話しをいただきました。

会員慶事

- 【本人誕生日】
前田守会員
川口尚史会員
- 【配偶者誕生日】
ありません。
- 【結婚記念日】
ありません。



◆次回例会プログラム◆ クラブ協議会

出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席数	出席率	前々回12月22 日修正出席率
19名	18名	15名	83.33%	94.44%

出席： 古泉・太田・野口・菊地・梅田 他 計15名

欠席： 前田・中田・荒川・石川 計4名

MU： 石川 計1名